

先進的あるいは特色ある教育課程	学校名等	課程
タブレット等のICTの活用	栃木県立宇都宮高等学校	全日制普通科

ア 取組状況について

① 教育課程

(教育課程編成)

- ・本校は創立140周年の伝統校であり、各学年7クラス、計21クラスの男子校である。
- ・本校では、平成28年度から3年間、栃木県より「スタディ・フロンティア推進事業」(コアスクールプラン)実施校に指定されており、本年度で3年目となる。
- ・コアスクールプランでは、主体的に問題を発見し解決する力、協働して仕事や研究に取り組む力、論理的思考力、多面的思考力、批判的思考力、コミュニケーション力等の育成のため、外部機関と連携するとともに、タブレット端末を利用して授業の充実・教科横断的学習・課題研究を行っている。さらに、研究成果を外部に公開し、発信する力の育成に努めている。

(授業展開)

- ・総合的学習の時間を活用し、「課題研究Ⅰ」(1年次前半)において、自らの生き方・将来の在り方を考え、グループで職業研究並びに学問分野研究を行う。また「課題研究Ⅱ」(1年次後半～2年次)では、外部機関と連携を密にとって指導を仰ぎ、フィールドワークを含む本格的な探究を行い、論文作成、研究発表を行う。

② 教員の指導力向上

(教員研修)

- ・主にコアスクールプラン推進委員会と担当学年の教員が中心となり、指導法の研究を進めている。

(外部人材の活用)

- ・昨年度は、以下の外部機関にフィールドワーク等で御指導をいただいた。
外部機関：スポーツ庁、栃木県庁、宇都宮市役所、栃木県立文書館、宇都宮地方気象台、木村弁護士事務所、日本樹木医師会、中央大学など。
- ・公开发表会においては、岐阜大学の小林一貴准教授に講評をいただいた。

③ 校内組織

- ・コアスクールプラン推進委員会と担当学年が中心となっているが、3年正担任を除くほぼ全教員が指導に当たっている。

④ 施設設備

- ・生徒用にタブレット(65台)、無線LANアクセスポイント(7台)、視聴覚教室に電子黒板を昨年度設置した。

⑤ 取組の成果の(都道府県)全体への普及・共有方法

- ・コアスクールプラン課題研究公开发表会を開催している。
- ・ホームページに校内発表会及び公开发表会の詳細を掲載している。

⑥ その他

- ・タブレットを活用した効果的な授業の在り方について、研究を行っている。

イ 今後の課題

- ・コアスクールプランが終了した後、同様の内容をどのように発展させていくか。
- ・タブレットや電子黒板等ICT機器を、さらに拡充するとともに、定期的に更新していくための費用をどう確保するか。